



ふらり らいふらりい



～図書室にはこんな本があります～

No. 154

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 昨年の12月19日に亡くなった「はだしのゲン」の著者として有名な『中沢啓治』が書いた本が見たい。

答) 「中沢啓治」をキーワードとして著者名で検索します。

図書 → 著者名等から調べる → 中沢啓治 → 26件

『はだしのゲン第1巻～第10巻』(726/N46/1-10) 開架書棚 [漫画]

『絵本はだしのゲン』(726/N46) 開架書棚 [児童書]

『はだしのゲン わたしの遺書』(726/N46) 開架書棚 [児童書]

『黒い雨にうたれて』(369.37/N46) 開架書棚 [漫画]

『ヒロシマの空白』(369.37/N46) 閉架書庫



※代表作「はだしのゲン」はコミック版と愛蔵版(ハードカバー)それぞれ全10巻の累計売り上げが1千万部を超えています。今では約20か国語に翻訳され、2009年には全巻の英訳版が完成しました。

「はだしのゲン」の映像は5階の映像・音響室でご覧頂けます。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

「撃ちてし止まむ」

この標語は、今から70年前に人々に広く知れ渡りました。

昭和18年(1943)2月23日、陸軍省は3月10日の第38回陸軍記念日に備え、決戦標語「撃ちてし止まむ」のポスター5万枚を全国に配布し、記念日当日に一斉に掲げるように指示しました。3月5日には東京・有楽町の日本劇場(現在有楽町マリオンが建っている場所)正面に、この標語を記した百畳敷きの写真が掲げられました。

開戦二年目の昭和一八年の決戦標語は「撃ちてし止まむ」であった。三月一〇日の第三八回陸軍記念日を押し出すように、日本劇場の正面には百畳敷の大写真が掲出された。それは突貫を叫びながら、敵軍に手榴弾を投げかける兵士の姿である。

銀座四丁目の交差点の横断歩道には、米国と英国の国旗が大きく描かれていて、わたくし達はそれを踏みつけて渡った。

喜多川周之「昭和のこの頃」

『証言の昭和史5』(210.7/Sh95/5)より引用

「撃ちてし止まむ」は、『古事記』の神武東征の歌から取られた一節で、敵を討ち果たさずにおくものかという強い決意を表します。この標語は、国民の士気鼓舞のためにいたるところで使われました。

『週報』333号(昭和18年3月3日発行)では、この言葉の説明に1ページが割かれ、記事の最後には「“撃ちてし止まむ”の精神は、単に前線だけでなく銃後の生産戦に、総力戦に。一億国民の悉くに、今こそ“撃ちてし止まむ”の烈々たる気迫が要請されるのであります」と記されている。

当時刊行された雑誌や書籍を見ると、大人向け・子ども向けを問わず、記事や広告にこの標語が頻繁に登場します。

◎参考文献:「昭和 二万日の全記録 6巻」(210.7/Ko19/6)開架書棚

「証言の昭和史5」(210.7/Sh95/5)開架書棚

「アサヒグラフに見る昭和の世相6」(210.7/A82/6)閉架

「史料週報第26巻」(317/Sh89/26)閉架

—図書室から—

蔵書点検のお知らせ

3月1日(金)から14日(木)まで、新規資料の受入、資料整理・点検のため図書室は休室させていただきます。期間中はご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 154

2013年2月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1